

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月9日 (2012.8.9)

【公表番号】特表2011-525911(P2011-525911A)

【公表日】平成23年9月29日 (2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2011-039

【出願番号】特願2011-515706(P2011-515706)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/012 (2006.01)

A 6 1 K 39/108 (2006.01)

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

A 6 1 K 31/7084 (2006.01)

A 6 1 K 39/215 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7008 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/00 Z

A 6 1 K 39/012

A 6 1 K 39/108

A 6 1 K 39/00 J

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 31/7084

A 6 1 K 39/215

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/7008

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月20日 (2012.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アジュバント製剤と治療上効果的な量の抗原成分とを含むワクチン組成物であって、アジュバント製剤が、サポニン、ステロール、第 4 級アンモニウム化合物、およびポリマーを含むワクチン組成物。

【請求項 2】

サポニンが 1 用量当たり約 $1 \mu\text{g}$ から約 $5,000 \mu\text{g}$ の量で存在し、ステロールが 1 用量当たり約 $1 \mu\text{g}$ から約 $5,000 \mu\text{g}$ の量で存在し、第 4 級アンモニウム化合物が 1 用量当たり約 $1 \mu\text{g}$ から約 $5,000 \mu\text{g}$ の量で存在し、ポリマーが約 $0.0001\% \text{ v/v}$ から約 $75\% \text{ v/v}$ の量で存在する、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 3】

サポニンが Q u i l A またはその精製画分であり、ステロールがコレステロールであり、第 4 級アンモニウム化合物が D D A であり、ポリマーがポリアクリル酸である、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 4】

T h 2 刺激物質をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 5】

T h 2 刺激物質が糖脂質である、請求項 4 に記載のワクチン組成物。

【請求項 6】

T h 2 刺激物質が N - (2 - デオキシ - 2 - L - ロイシルアミノ - - D - グルコピラノシル) - N - オクタデシルドデカンアミドアセタートである、請求項 5 に記載のワクチン組成物。

【請求項 7】

糖脂質が 1 用量当たり約 0.01 mg から約 10 mg の量で存在する、請求項 5 に記載のワクチン組成物。

【請求項 8】

前記抗原成分が不活化ウイルスを含む、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 9】

a) 緩衝液中で抗原成分の組成物を調製するステップ、
b) ステップ a の組成物にサポニンを添加するステップ、
c) ステップ b の組成物にステロールを添加するステップ、
d) ステップ c の組成物に第 4 級アンモニウム化合物を添加するステップ、
e) ステップ d の組成物にポリマーを添加するステップ
を含む、請求項 1 に記載のワクチン組成物を調製する方法。

【請求項 10】

サポニンが Q u i l A またはその精製画分であり、ステロールがコレステロールであり、第 4 級アンモニウム化合物が D D A であり、ポリマーがポリアクリル酸である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

ステップ a の組成物を均質化し、ステップ a から d の各ステップの間に均質化を継続するステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

ステップ d の組成物のマイクロ流体化を含むステップをさらに含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

ステップ e の組成物に T h 2 刺激物質を添加するステップ f) をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

T h 2 刺激物質が糖脂質である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

Th2 刺激物質が N - (2 - デオキシ - 2 - L - ロイシルアミノ - - D - グルコピラノシル) - N - オクタデシルドデカンアミドアセタートである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

油をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 17】

抗原成分がネコ白血病ウイルスを含む、請求項 9 から 15 のいずれかに記載の方法。

【請求項 18】

抗原成分がネコ白血病ウイルスを含む、請求項 1 から 8 のいずれかに記載のワクチン組成物。

【請求項 19】

ネコ白血病ウイルスが約 100 ng / mL から約 350,000 ng / mL までの量で存在する、請求項 18 に記載のワクチン組成物。

【請求項 20】

請求項 18 に記載のワクチン組成物をネコに投与することを含む、ネコ白血病ウイルスにより生じる感染に対してネコを治療する方法。

【請求項 21】

ネコ白血病ウイルスにより生じる感染に対してネコを治療するための医薬品の調製における、請求項 18 に記載のワクチンの使用。

【請求項 22】

ORN / ODN をさらに含む、請求項 1 から 8 のいずれかに記載のワクチン組成物。

【請求項 23】

ORN / ODN が CpG である、請求項 22 に記載のワクチン組成物。